

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局



(43) 国際公開日
2011 年 10 月 6 日(06.10.2011)

PCT

(10) 国際公開番号
WO 2011/122597 A1

- (51) 国際特許分類:
A61F 13/15 (2006.01) A61F 13/49 (2006.01)
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2011/057744
- (22) 国際出願日: 2011 年 3 月 29 日(29.03.2011)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
特願 2010-078816 2010 年 3 月 30 日(30.03.2010) JP
- (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): ユニ・チャーム株式会社 (Unicharm Corporation) [JP/JP]; 〒7990111 愛媛県四国中央市金生町下分 1 8 2 番地 Ehime (JP).
- (72) 発明者: および
- (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 青木 克文 (AOKI, Katsufumi) [JP/JP]; 〒7691602 香川県観音寺市豊浜町和田浜 1 5 3 1-7 ユニ・チャーム株式会社テクニカルセンター内 Kagawa (JP). 三井 浩一郎 (MITSUI, Koichiro) [JP/JP]; 〒7691602 香川県観音寺市豊浜町和田浜 1 5 3 1-7 ユニ・チャーム株式会社テクニカル

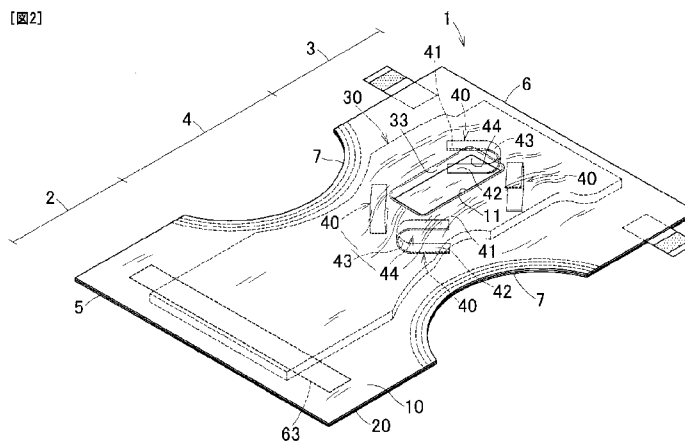
センター内 Kagawa (JP). 中下 将志 (NAKASHITA, Masashi) [JP/JP]; 〒7691602 香川県観音寺市豊浜町和田浜 1 5 3 1-7 ユニ・チャーム株式会社テクニカルセンター内 Kagawa (JP). 光野 聡 (MITSUNO, Satoshi) [JP/JP]; 〒7691602 香川県観音寺市豊浜町和田浜 1 5 3 1-7 ユニ・チャーム株式会社テクニカルセンター内 Kagawa (JP). 丹治 浩之 (TANJI, Hiroyuki) [JP/JP]; 〒7691602 香川県観音寺市豊浜町和田浜 1 5 3 1-7 ユニ・チャーム株式会社テクニカルセンター内 Kagawa (JP).

- (74) 代理人: 白浜 吉治, 外 (SHIRAHAMA, Yoshiharu et al.); 〒1050004 東京都港区新橋 2 丁目 1 3 番 8 号 新橋東和ビル Tokyo (JP).
- (81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IS, KE, KG, KM, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PE, PG, PH, PL, PT, RO, RS, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV,

[続葉有]

(54) Title: DISPOSABLE ARTICLE FOR WEARING

(54) 発明の名称: 使い捨て着用物品



(57) Abstract: Provided is a disposable article for wearing that can prevent excrement from clinging to the skin of a user. A diaper (1) comprises an inner surface sheet (10), an outer surface sheet (20), and a liquid absorbing structure (30) disposed between the inner surface sheet (10) and the outer surface sheet (20). An opening (11) is formed through the inner surface sheet (10) in the thickness direction thereof, and a passage (33) penetrates the thickness of the liquid absorbing structure (30) at a position corresponding to the opening (11) in the inner surface sheet (10). The inner surface sheet (10) and the outer surface sheet (20) are bonded to each other in a bond region (21) around the liquid absorbing structure (30) and are not bonded to each other in a containing region (22) located inside the bond region (21). Elastic spacers (40) are arranged in the containing region (22) between the outer surface sheet (20) and the liquid absorbing structure (30). Each of the spacers (40) comprises an end part (41) bonded to the liquid absorbing structure (30), an opposite end part (42) bonded to the outer surface sheet (20), a connection part (43) located between the end parts (41, 42), and a space (44) formed between the end parts (41, 42).

(57) 要約:

[続葉有]



WO 2011/122597 A1



SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC,
VN, ZA, ZM, ZW.

- (84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR,

GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

— 国際調査報告 (条約第 21 条(3))

便が着用者の肌に付着するのを防止できる使い捨て着用物品を提供する。おむつ 1 は、内面シート 10 と、外面シート 20 と、内外面シート 10, 20 の間に位置する吸液構造体 30 とを有する。内面シート 10 には、その厚さ方向に貫通する開口 11 が形成され、吸液構造体 30 には、内面シート 10 の開口 11 に対応する位置に、その厚さ方向に貫通する通路 33 が形成されている。内外面シート 10, 20 には、吸液構造体 30 の周囲において接合された接合領域 21 と、接合領域 21 の内側で、これらが接合されない収容領域 22 とが形成される。収容領域 22 であって、外面シート 20 と吸液構造体 30 との間には、弾性スペーサ 40 が配置される。スペーサ 40 は、吸液構造体 30 に接合される一端部 41 と、外面シート 20 に接合される他端部 42 と、これら両端部 41, 42 の間に位置する連結部 43 と、一端部 41 と他端部 42 との間に空間部 44 とを有する。

明 細 書

発明の名称： 使い捨て着用物品

技術分野

[0001] 本発明は、使い捨て着用物品に関し、より詳しくは、排泄物を収容するための開口が形成された使い捨ておむつ、使い捨てのトイレット・トレーニングパンツ、使い捨て失禁パンツ、使い捨ての生理用パンツ等の使い捨て着用物品に関する。

背景技術

[0002] 従来、透液性のトップシートと、不透液性のバックシートと、これらシートの上に位置する吸収コアとを有するおむつが公知である。例えば、特許文献1には、使い捨ておむつのトップシートには、バックシート側に連通する開口が形成され、開口の周囲には、トップシートとバックシートとを離間するスペーサが取り付けられていることが開示されている。

[0003] スペーサは、トップシートとバックシートとを離間させることができるので、便がトップシートに排泄され、その開口からトップシートとバックシートとの間に流入したときには、スペーサによって便の逆流が阻止され、便が着用者の肌に付着するのを防止することができる。

先行技術文献

特許文献

[0004] 特許文献1：特許第3298643号公報（JP 3298643 B2）

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0005] 上記のような特許文献1では、スペーサはほぼ閉鎖した形状を有する。すなわち、スペーサは長手方向に延びる部分と、これらの前後方を接続する部分とを有し、開口を囲む環状に形成されている。このように環状に形成されたスペーサの中に便が排泄されると、便はスペーサから流出することなく、その中に留まる。このような閉鎖されたスペーサでは、収容できる便の容量

に限界があり、排便の量によっては、便が着用者に付着する可能性があった。

[0006] この発明では、便が着用者の肌に付着するのを防止できる使い捨て着用物品を提供することを課題とする。

課題を解決するための手段

[0007] 本発明は、縦方向および横方向とを有し、身体側およびその反対側と、前後ウエスト域および前記前後ウエスト域間に位置するクロッチ域と、前記身体側に位置する内面シートと、前記反対側に位置する外面シートとを含み、前記内面シートには、前記身体側から前記外面シート側に向かって貫通する開口が形成される使い捨て着用物品の改良にかかわる。

[0008] 本発明は、前記使い捨て着用物品において、前記内外面シートの間には、これらを互いに接合する接合領域と、前記接合領域と前記開口との間に位置する收容領域とが形成され、前記收容領域には、弾性的に変形可能であって前記内外面シートを互いに離間可能であるスペーサが配置され、前記スペーサは、前記内面シート側および前記外面シート側の一方に位置する第1当接面と、前記内面シートおよび前記外面シート側の他方に位置する第2当接面と、これら第1および第2当接面間に位置する連結部とを有し、前記第1および第2当接面と前記連結部とによって前記開口と前記收容領域とを連通する空間部が形成されることを特徴とする。

[0009] この発明の実施態様のひとつとして、前記スペーサは、少なくとも前記連結部が、湾曲して配置される。

[0010] 他の実施態様のひとつとして、前記内外面シートの間には、吸液構造体が配置され、前記スペーサは、前記内面シートと前記吸液構造体との間、および、前記吸液構造体と前記外面シートとの間のいずれかに配置される。

[0011] 他の実施態様のひとつとして、前記吸液構造体は、前記開口に重なるとともにその厚さ方向に貫通する通路を有する。

[0012] 他の実施態様のひとつとして、前記スペーサは、疎水性である。

[0013] 他の実施態様のひとつとして、前記スペーサは、その複数が、前記開口の

周囲に離間して配置される。

[0014] 他の実施態様のひとつとして、前記スペーサは、前記第 1 および第 2 当接面および前記連結部によってその全体が U 字に形成される。

[0015] 他の実施態様のひとつとして、前記スペーサは、厚さ方向の断面形状が O 形、H 形および Z 形のいずれかに形成される。

発明の効果

[0016] 本発明の特にそのひとつ以上の実施態様によれば、内外面シートの間には収容領域が形成され、内面シートには厚さ方向に貫通する開口が形成され、開口の周囲には内外面シートを離間可能なスペーサが取り付けられる。スペーサには、開口と収容領域とを連通する空間部が形成されるから、開口に排泄された排泄物は、空間部を介して収容領域に流入する。したがって、排泄物は、着用者の肌から離れたところで保持され、これが着用者の肌に付着するのを防止することができる。

図面の簡単な説明

[0017] [図1] 使い捨て着用物品の一例である使い捨ておむつの一部破断平面図。

[図2] 図 1 の斜視図。

[図3] 図 1 の I I I - I I I 線断面図。

[図4] (a) スペーサの展開斜視図。(b) スペーサの斜視図。

[図5] (a) (b) (c) (d) 他の実施形態のスペーサの斜視図。

発明を実施するための形態

[0018] 図 1 は、本発明に係る使い捨て着用物品の一例として示す、使い捨ておむつ 1 の一部破断平面図、図 2 は、おむつ 1 の斜視図、図 3 は、図 1 の I I I - I I I 線断面図であって、各弾性体を伸長させた状態を示したものである。おむつ 1 は、横方向 X の長さ寸法を二等分した仮想縦中心線 P-P、縦方向 Y の長さ寸法を二等分した仮想横中心線 Q-Q を有し、仮想縦中心線 P-P に関してほぼ対称とされている。

[0019] おむつ 1 は、着用者の身体側およびその反対側である着衣側と、前ウエスト域 2 と、後ウエスト域 3 と、前後ウエスト域 2, 3 間に位置するクロッチ

域 4 と、互いに仮想横中心線 Q-Q に関して対向し、横方向 X に延びる前後端縁 5, 6 と、互いに仮想縦中心線 P-P に関して対向し、縦方向 Y へ延びる両側縁 7 とを有する。両側縁 7 は、クロッチ域 4 において、着用者の大腿部に沿ってフィットするように凹曲状に形成されている。

[0020] おむつ 1 は、身体側に位置する内面シート 10 と、着衣側に位置する外面シート 20 と、これら内外面シート 10, 20 の間に位置する吸液構造体 30 とを有する。内面シート 10 は、透液性の繊維不織布等を用いることができる。内面シート 10 には、外面シート 20 側へとその厚さ方向に貫通する開口 11 が形成されている。開口 11 は、仮想横中心線 Q-Q よりも後ウエスト域 3 側に偏倚して形成することが好ましく、この開口 11 がおむつ 1 の着用時に着用者の肛門に対応する位置関係を与えられている。

[0021] 外面シート 20 は、例えば、不透液性かつ透湿性のプラスチックフィルムと、繊維不織布とのラミネートを用いることができる。不透液性かつ透湿性のプラスチックフィルムを用いることで、おむつ 1 からの尿等の漏れを防止することができるとともに、おむつ 1 内の蒸れを抑制することができ、これを繊維不織布で覆うことによって、おむつ 1 の肌触りを向上させることができる。

[0022] 吸液構造体 30 は、吸液性の芯材 31 と、芯材 31 を覆う液拡散性の被覆シート 32 を有する。芯材 31 としては、フラッフパルプ繊維や高吸収性ポリマー粒子、またはこれらの混合物等を用いることができる。吸液構造体 30 は、その内面側が内面シート 10 に図示しないホットメルト接着剤等の接合手段によって接合され、外面側は外面シート 20 に接合されていない。吸液構造体 30 には、内面シート 10 の開口 11 に対応する位置に、これをその厚さ方向に貫通する通路 33 が形成されている。したがって、内面シート 10 と吸液構造体 30 とを積層させた際には、開口 11 と通路 33 とが合致し、内面シート 10 と吸液構造体 30 とが身体側から外面シート 20 へ向けて貫通される。

[0023] 内面シート 10 と外面シート 20 とは、吸液構造体 30 の周囲において、

ホットメルト接着剤等の接合手段によって接合され、接合領域 21 が形成されている。接合領域 21 の内側では、外面シート 20 は、内面シート 10 または吸液構造体 30 に接合されることなく、この非接合の領域で收容領域 22 が形成される。收容領域 22 は、外面シート 20 と吸液構造体 30 との間に形成され、開口 11 から排泄物が流入したときには、收容領域 22 内でこれを拡散することができるが、排泄物は接合領域 21 によってその外側へと流出するのを防止される。接合領域 21 は、内外面シート 10, 20 を互いに水密に接合し、收容領域 22 の周囲の全域において形成されているからである。

[0024] 收容領域 22 であって、外面シート 20 と吸液構造体 30 との間には、スペーサ 40 が配置されている。図 4 (a) に例示したように、スペーサ 40 は、幅方向 W の長さ寸法が約 5 ~ 20 mm、好ましくは約 10 mm であって、長さ方向 L の長さ寸法が約 30 ~ 150 mm、好ましくは約 65 mm の細長矩形片の弾性体によって形成されている。スペーサ 40 は、疎水性であって、尿などの水分存在下においても、その弾性性能がほとんど変化しないものの、例えば、ゴム、合成樹脂を用いることが好ましい。

[0025] 図 4 (b) に例示したように、スペーサ 40 は、吸液構造体 30 に接合される一端部 41 と、外面シート 20 に接合される他端部 42 と、これら両端部 41, 42 の間に位置する連結部 43 とを有する。両端部 41, 42 がそれぞれ吸液構造体 30 および外面シート 20 に接合されることによって、連結部 43 は湾曲し、円弧状に形成され、全体的に U 字を形成している。このように連結部 43 を湾曲状態で配置することによって、一端部 41 と他端部 42 との間には空間部 44 が形成され、スペーサ 40 を弾性的に変形可能とすることができる。この実施形態において、両端部 41, 42 およびその近傍によって、内外面シート 10, 20 側に位置する第 1 および第 2 当接面を形成している。

[0026] 上記のようなスペーサ 40 は、図 4 (a) の細長矩形片から、これを折り曲げながら吸液構造体 30 および外面シート 20 の間に固定して図 4 (b)

のU字の状態で配置することもできるし、あらかじめU字に形成し、この形状を保持させて吸液構造体30および外面シート20の間に固定することもできる。

[0027] 図1および2に示したように、スペーサ40は、その複数が開口11の周囲に離間して配置され、この実施形態では、略矩形の開口11のそれぞれの隅近傍に4箇所配置されている。スペーサ40は、仮想縦中心線P-Pに対称に配置されるとともに、その長さ方向Lがおむつ1の縦方向Yと一致しないようにされている。すなわち、長さ方向Lが仮想縦中心線P-Pに対して傾斜するようにされている。さらに、スペーサ40は、仮想縦中心線P-Pには重ならないように、横方向Xに離間されている。

[0028] 内外面シート10、20の間であって、少なくともクロッチ域4には、両側縁7に沿って延びるレッグ弾性体50が取り付けられている。レッグ弾性体50は、伸長状態で収縮可能に取り付けられ、クロッチ域4において両側縁7が着用者の鼠蹊部近傍に密着し、おむつ1からの排泄物の漏れを防止している。レッグ弾性体50は、内外面シート10、20の間に形成された接合領域21によって、これら内外面シート10、20の少なくともいずれか一方に取り付けることができる。

[0029] 外面シート20の着衣側であって、後ウエスト域3には、テープタブ61が取り付けられ、テープタブ61の身体側にフック要素62が取り付けられている。テープタブ61は、両側縁7から延出して取り付けられ、その延出した部分にフック要素62が位置している。外面シート20の前ウエスト域2の着衣側には、両側縁7間に、ループ要素63が取り付けられている。ループ要素63は、フック要素62に離脱可能に係合され、パンツ型のおむつ1にすることができる。

[0030] 上記のようなおむつ1を着用者に着用させる場合には、開口11が着用者の肛門に位置するようにする。開口11には、スペーサ40によって吸液構造体30と外面シート20との間に空隙が形成され、收容領域22が広げられる。特に開口11の周囲にスペーサ40が配置されているから、この開口

１１の近傍においては、内面シート１０および吸液構造体３０と、外面シート２０との離間距離が大きくされ、この開口１１に直接便等が排泄された場合であっても、着用者と離れた位置で便を保持することができ、この便が着用者の肌に付着するのを防止することができる。

[0031] スペーサ４０には、空間部４４が形成されているので、開口１１、通路３３および空間部４４を介しておむつ１の身体側と收容領域２２とが連通される。したがって、おむつ１の身体側から開口１１に向かって排泄された便等は、空間部４４を介して收容領域２２へと拡散され、より一層着用者の肌から離れたところで便を保持することができ、便が肌に付着するのを防止することができる。すなわち、便が開口近傍に留まって、これが着用者の肌に付着するのを防止することができる。

[0032] 便等は、收容領域２２に拡散することができるので、複数回の排便があったり、大量の排便があったりした場合であっても、これを開口１１から離れたところで保持することができる。また、收容領域２２に尿等の体液が拡散された場合には、吸液構造体３０の広い領域で尿を吸収することができ、効率的に吸液構造体３０を使用することができる。

スペーサ４０は、開口１１の周囲にこれと離間して取り付けられているので、これら隣接するスペーサ４０の間を介して、開口１１から收容領域２２へと排泄物を拡散することもできる。

[0033] スペーサ４０は、Ｕ字状に取り付けられ、一端部４１と他端部４２とが互いに近づいたり離れたりすることによって弾性的に変形可能であり、特に内外面シート１０、２０を接近させたり、離間させたりするように変形可能であるので、おむつ１の着用時に着用者の体圧が作用した場合には、これを変形させて内面シート１０を身体に密着させることができる。また、一端部４１および他端部４２は、縦方向Ｙに互いに対向するスペーサ４０内側に向かって配置され、連結部４３を縦方向Ｙ外側に配置されている。すなわち、開口１１の縦方向Ｙ中央部側に両端部４１、４２が配置されるので、スペーサ４０に体圧が作用した場合には、スペーサ４０は、両端部４１、４２側で小

さく、連結部43側で大きくなるように傾斜し、開口11から離れるに従って收容領域22を大きくすることができる。また、このように、スペーサ40が傾斜することによって、スペーサ40は、着用者の身体に沿って変形可能であるので、スペーサ40を取り付けることによる着用者に対する違和感を低減することができる。

[0034] スペーサ40は、その両端部41、42が連結部43よりも横方X外側に向かって配置され、長さ方向Lが、仮想縦中心線P-Pに対して傾斜して取り付けられている。このように仮想縦中心線P-Pに対して傾斜させることによって、開口11に対してバランスよく配置することができるとともに、スペーサ40を傾斜可能とすることによって、排泄位置に対して容易に位置決めをすることができる。スペーサ40は、開口11の形状、排泄位置に合わせて種々の配置が考えられる。例えば、仮想縦中心線P-Pに対して両端部41、42が横方向X内側に向かって配置する等も可能である。

[0035] 上記のようなおむつ1において、スペーサ40は、内面シート10と吸液構造体30との間に取り付けることもできる。この場合には、吸液構造体30に通路33を形成する必要はない。また、内面シート10側および外面シート20側のそれぞれに吸液構造体30を形成し、これら吸液構造体の間にスペーサ40を取り付けることとしてもよい。スペーサ40と外面シート20との間に吸液構造体30を形成する場合には、内面シート10と外面シート20との離間距離を大きくすることができ、收容領域22を大きく確保することもできる。また、スペーサ40と外面シート20の間には、吸液構造体30のほかに、例えば発泡性ポリウレタン製の支持部材を配置することもできる。支持部材は、弾性を有するとともに、水分によってその弾性性能が著しく低下しないものを用いることが好ましい。

[0036] 図5は、他の実施形態におけるスペーサ40を例示したものである。他の構成は先に説明した実施形態と同様であるので、その詳細な説明を省略する。図5(a)に示すように、スペーサ40は、一端部41、他端部42および連結部43によって、おむつ1の厚さ方向に切断したときの断面形状が環

状すなわち〇形を形成している。ただし、当然のことながら、スペーサ４０の断面がほぼ円形である場合には、これら両端部４１、４２および連結部４３が明確に区画されることはない。このようなスペーサ４０の内部には、空間部４４が形成され、この空間部４４を介しておむつ１の身体側と収容領域２２とを連通することができる。

[0037] スペーサ４０を環状の〇形にすることによって、その側面のいずれの方向から加圧された場合であっても、変形可能とすることができる。したがって、着用者のさまざまな体勢における加圧に対応することができ、どのような体勢の場合にも、内面シート１０を着用者の肌に密着させることができる。

[0038] スペーサ４０は、前述のもののほか、例えば、図５（ｂ）に示すように、断面円形、好ましくは楕円形のＵ字管、図５（ｃ）に示すように断面Ｈ形、図５（ｄ）に示すように断面Ｚ形に形成することができる。図５（ｃ）および（ｄ）において、空間部４４は、連結部４３の両側において形成される。また、いずれの場合のスペーサ４０においても、連結部４３にさらに切欠きや開口を形成し、これを空間部とすることも可能である。

[0039] 前記各断面形を有するスペーサ４０は、上位概念的に、第１当接面（例えば、図４、５中の符号４１の部分およびその近傍）と、第２当接面（例えば、図４、５中の符号４２の部分およびその近傍）と、前記第１および第２当接面の間に位置する連結部（例えば、図４、５中の符号４３の部分）とを含むと定義することができる。

[0040] おむつ１を構成する各構成部材には、本明細書に記載されている材料のほかに、この種の分野において通常用いられている、各種の公知の材料を制限なく用いることができる。

符号の説明

- [0041]
- １ 使い捨ておむつ（使い捨て着用物品）
 - ２ 前ウエスト域
 - ３ 後ウエスト域
 - ４ クロッチ域

1 0	内面シート
1 1	開口
2 0	外面シート
2 1	接合領域
2 2	收容領域
3 0	吸液構造体
3 3	通路
4 0	スペーサ
4 1	一端部（第 1 当接面）
4 2	他端部（第 2 当接面）
4 3	連結部
4 4	空間部
Y	縦方向
X	横方向

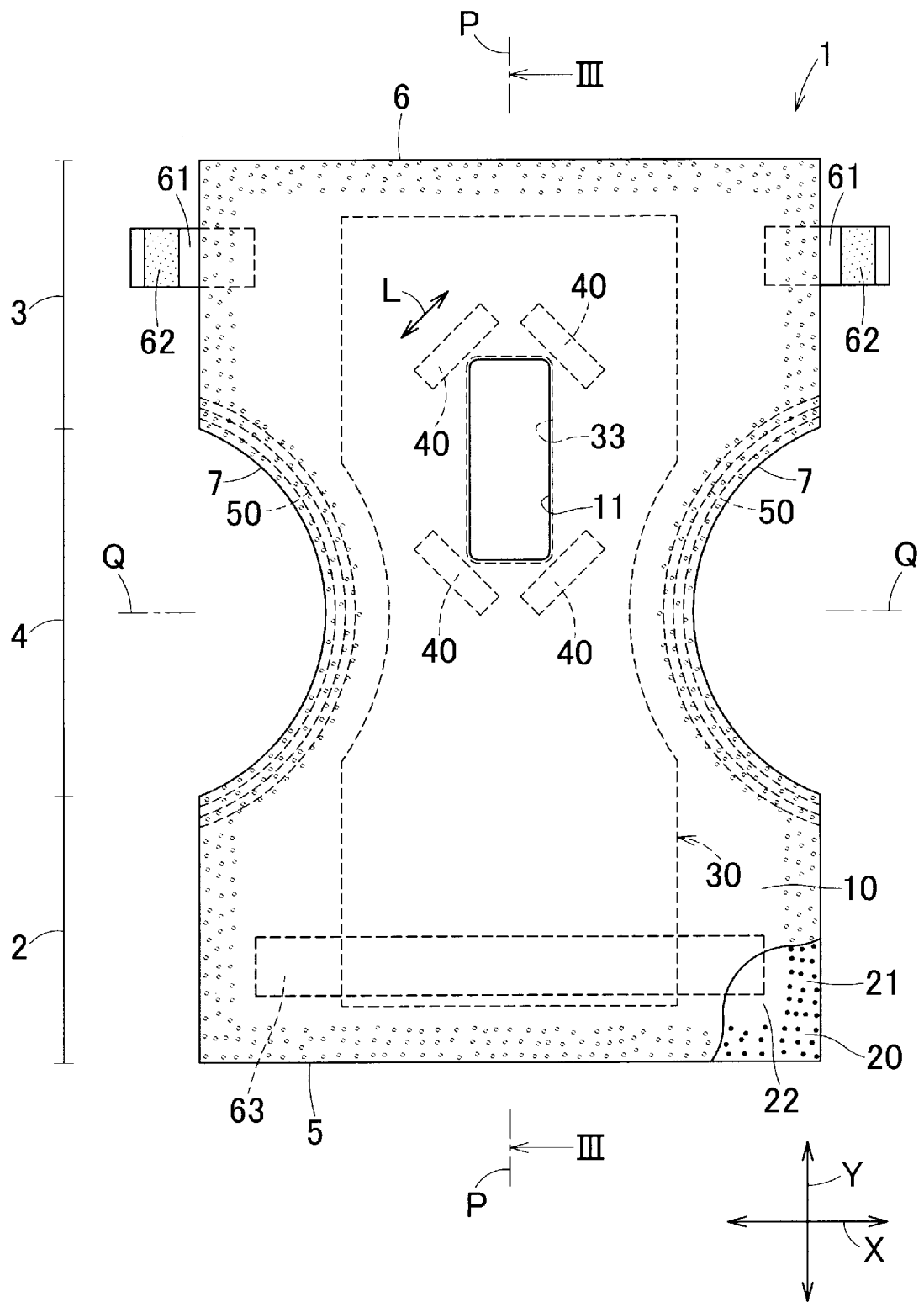
請求の範囲

- [請求項1] 縦方向および横方向とを有し、身体側およびその反対側と、前後ウエスト域および前記前後ウエスト域間に位置するクロッチ域と、前記身体側に位置する内面シートと、前記反対側に位置する外面シートとを含み、前記内面シートには、前記身体側から前記外面シート側に向かって貫通する開口が形成される使い捨て着用物品において、
- 前記内外面シートの間には、これらを互いに接合する接合領域と、前記接合領域と前記開口との間に位置する收容領域とが形成され、
- 前記收容領域には、弾性的に変形可能であって前記内外面シートを互いに離間可能であるスペーサが配置され、前記スペーサは、前記内面シート側および前記外面シート側の一方に位置する第1当接面と、前記内面シートおよび前記外面シート側の他方に位置する第2当接面と、これら第1および第2当接面間に位置する連結部とを有し、前記第1および第2当接面と前記連結部とによって前記開口と前記收容領域とを連通する空間部が形成されることを特徴とする前記使い捨て着用物品。
- [請求項2] 前記スペーサは、少なくとも前記連結部が、湾曲して形成される請求項1記載の使い捨て着用物品。
- [請求項3] 前記内外面シートの間には、吸液構造体が配置され、
- 前記スペーサは、前記内面シートと前記吸液構造体との間、および、前記吸液構造体と前記外面シートとの間のいずれかに配置される請求項1または2記載の使い捨て着用物品。
- [請求項4] 前記吸液構造体は、前記開口に重なりとともにその厚さ方向に貫通する前記通路を有する請求項3記載の使い捨て着用物品。
- [請求項5] 前記スペーサは、疎水性である請求項1～4のいずれかに記載の使い捨て着用物品。
- [請求項6] 前記スペーサは、その複数が、前記開口の周囲に離間して配置される請求項1～5のいずれかに記載の使い捨て着用物品。

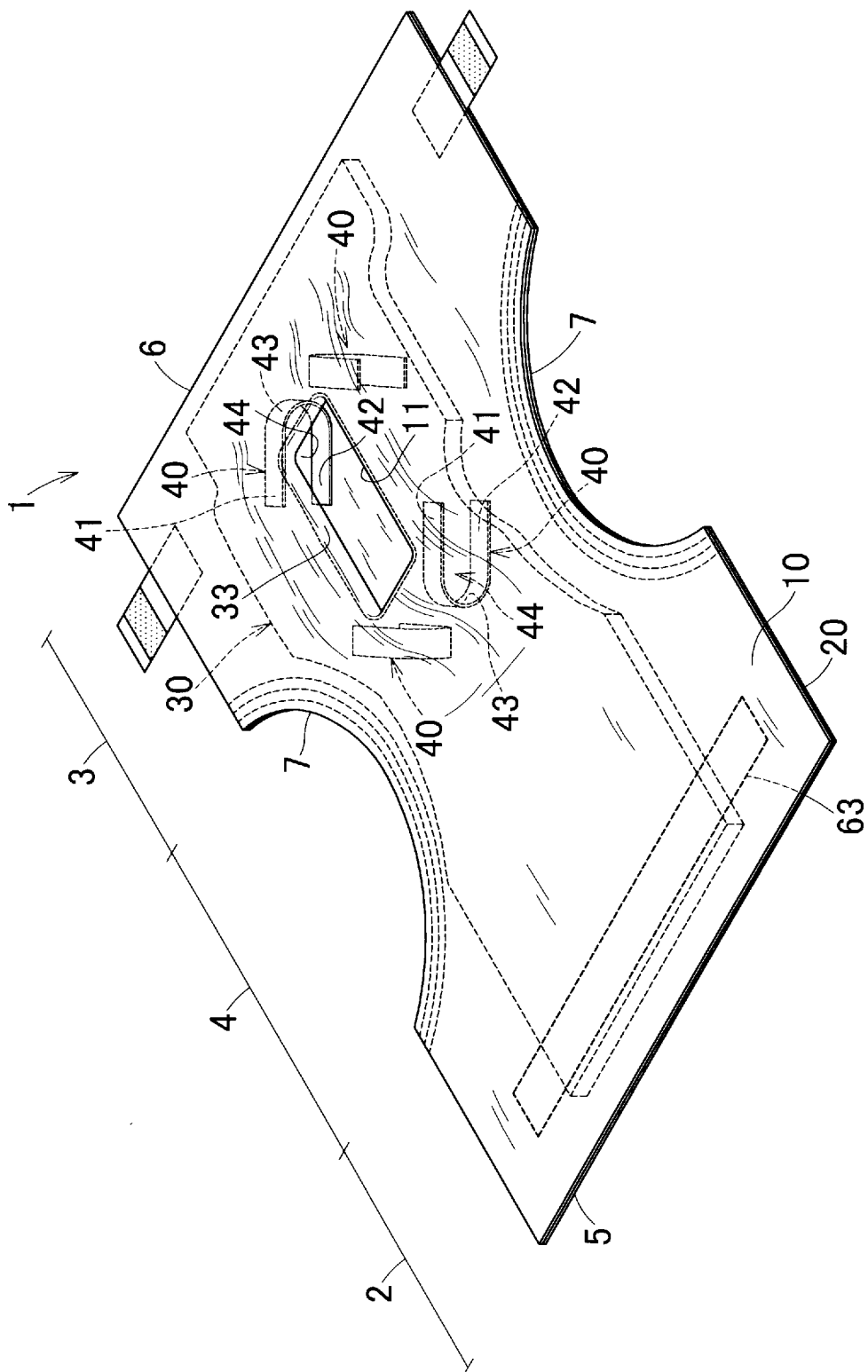
[請求項7] 前記スペーサは、前記第 1 および第 2 当接面および前記連結部によってその全体が U 字に形成される請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載の使い捨て着用物品。

[請求項8] 前記スペーサは、厚さ方向の断面形状が O 形、H 形および Z 形のいずれかに形成される請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載の使い捨て着用物品。

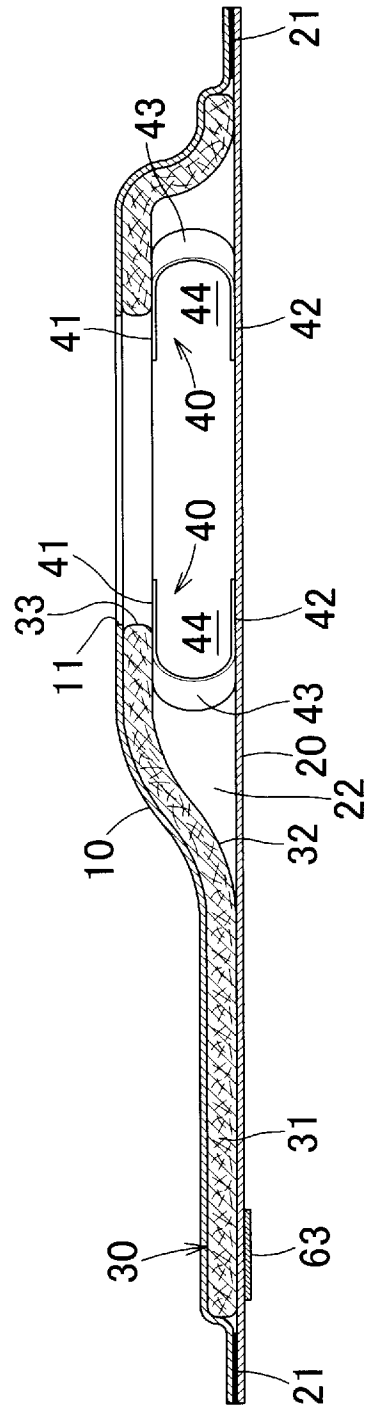
[図1]



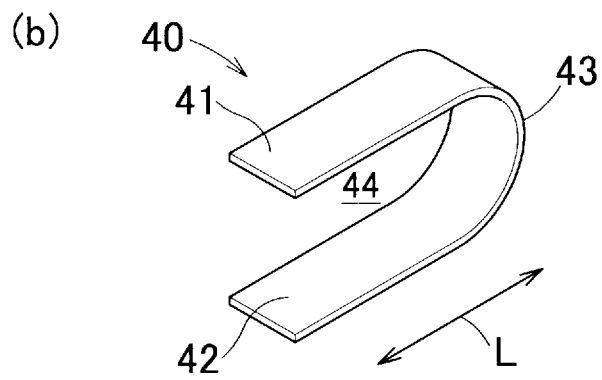
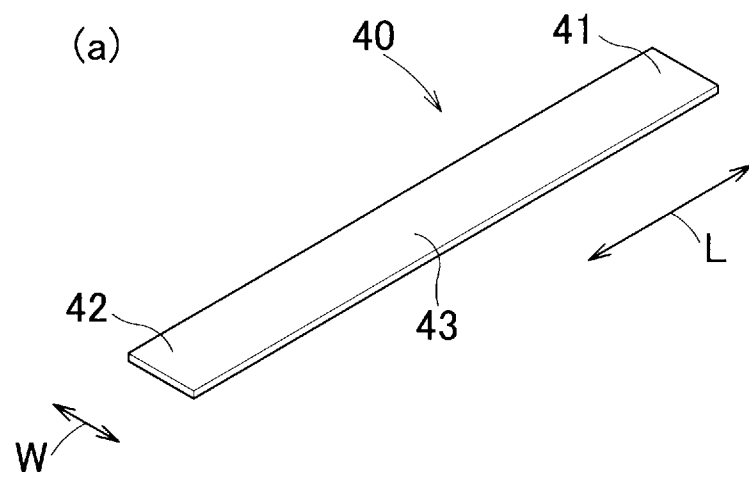
[図2]



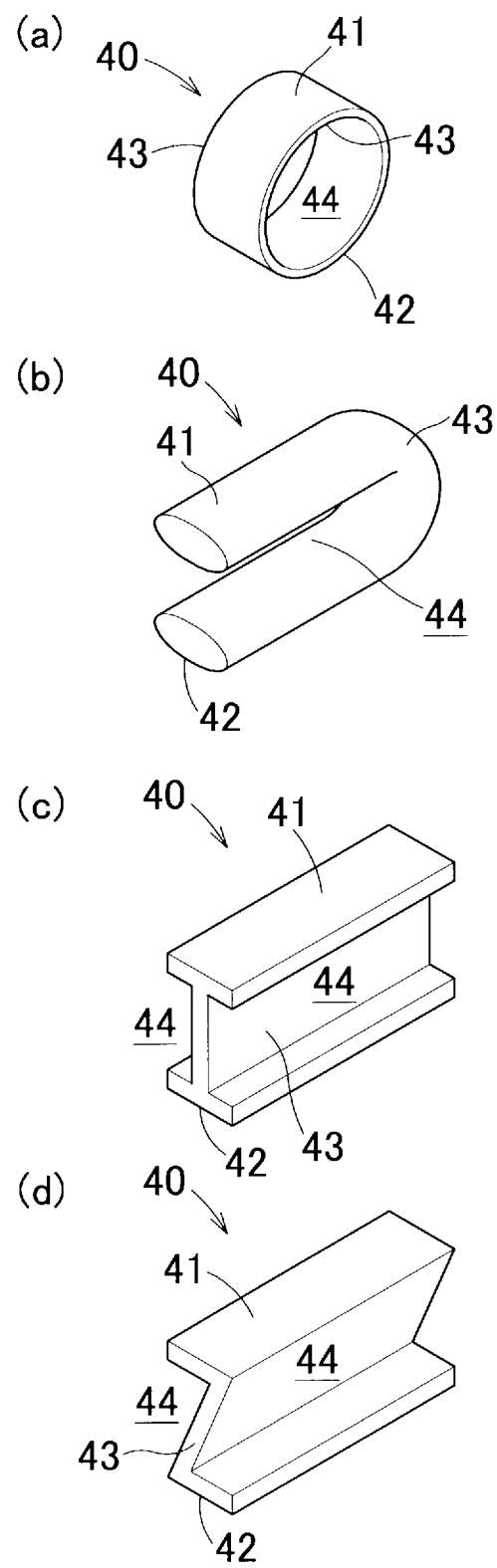
[図3]



[図4]



[図5]



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2011/057744

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

A61F13/15 (2006.01) i, A61F13/49 (2006.01) i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

A61F13/15, A61F13/49

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2011
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2011	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2011

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X Y	JP 10-192339 A (Uni-Charm Corp.), 28 July 1998 (28.07.1998), entire text; fig. 2, 5 & SG 70055 A & TW 456233 Y & ID 19296 A & CN 1192889 A	1-3, 7 4-8
Y	JP 2003-519534 A (The Procter & Gamble Co.), 24 June 2003 (24.06.2003), paragraph [0023]; fig. 3 to 4 & US 6458110 B1 & EP 1263368 A & WO 2001/050997 A1	4-8
Y	JP 2009-291283 A (Oji Nepia Co., Ltd.), 17 December 2009 (17.12.2009), paragraph [0074]; fig. 3 (Family: none)	5-8

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C.

☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
07 June, 2011 (07.06.11)

Date of mailing of the international search report
21 June, 2011 (21.06.11)

Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2011/057744

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 2010-17339 A (Oji Nepia Co., Ltd.), 28 January 2010 (28.01.2010), claim 4; fig. 20 (Family: none)	5-8
Y	JP 2000-152958 A (Kao Corp.), 06 June 2000 (06.06.2000), entire text; all drawings (Family: none)	6-8

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（I P C））

Int.Cl. A61F13/15(2006.01)i, A61F13/49(2006.01)i

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料（国際特許分類（I P C））

Int.Cl. A61F13/15, A61F13/49

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1 9 2 2 - 1 9 9 6 年
日本国公開実用新案公報	1 9 7 1 - 2 0 1 1 年
日本国実用新案登録公報	1 9 9 6 - 2 0 1 1 年
日本国登録実用新案公報	1 9 9 4 - 2 0 1 1 年

国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
X Y	JP 10-192339 A（ユニ・チャーム株式会社）1998.07.28, 全文, 【図2】, 【図5】 & SG 70055 A & TW 456233 Y & ID 19296 A & CN 1192889 A	1-3, 7 4-8
Y	JP 2003-519534 A（ザ、プロクター、エンド、ギャンブル、カンパニー）2003.06.24, 段落【0023】, 【図3】 - 【図4】 & US 6458110 B1 & EP 1263368 A & WO 2001/050997 A1	4-8

☒ C欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）
「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの

「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの

「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの

「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

0 7 . 0 6 . 2 0 1 1

国際調査報告の発送日

2 1 . 0 6 . 2 0 1 1

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁（I S A / J P）

郵便番号 1 0 0 - 8 9 1 5

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官（権限のある職員）

3 B

3 3 3 0

岡▲さき▼ 潤

電話番号 0 3 - 3 5 8 1 - 1 1 0 1 内線 3 3 2 0

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
Y	JP 2009-291283 A (王子ネピア株式会社) 2009.12.17, 段落【0074】, 【図3】 (ファミリーなし)	5-8
Y	JP 2010-17339 A (王子ネピア株式会社) 2010.01.28, 【請求項4】, 【図20】 (ファミリーなし)	5-8
Y	JP 2000-152958 A (花王株式会社) 2000.06.06, 全文, 全図 (ファミリーなし)	6-8